



福原市長(⊙)が8事業所の代表に認定証を交付
(大館市総合福祉センター)

働くパパママ応援企業

新たに8事業所認定

大館市 4年間で計27事業所に

従業員の仕事と子育ての両立支援に力を入れる事業所を対象とした大館市の「働くパパママ応援企業認定制度」の認定証授与式が8日、市総合福祉センターで開かれた。4年目の本年度は8事業所を新たに認定し、計27事業所となった。

認定を受けたのは、▽エヌピーエス(花岡町、秋本淳社長)▽東光鉄工(釈迦内、虻

川東雄社長)▽フレックス(花岡町、野村幸三郎社長)▽布袋屋薬局(大町、布袋屋隆満社長)▽タクト(御成町、佐藤学社長)▽あきた北農業協同組合(根下戸新町、仲澤修組合長)▽日本政策金融公庫大館支店(御成町、本橋浩一支店長)▽北都銀行大館支店(大町、木藤康嗣支店長)。

暇や短時間勤務制度、男性の育児休暇取得などを推進。「ノー残業デー」やプレミアムフライデーの実施など、働

き方改革を通して子育てを支援する事業所もある。このうち、フレックスは本年度、独自に子ども手当を支給する制度を創設。対象は大学卒業までで、担当者は「子育て中の従業員から非常に助かるという声が聞かれる」と話す。式では福原淳嗣市長が代表者に認定証を手渡し、「子育てしやすいまち大館の実現の

ため、今後とも協力してほしい」と述べた。記念品としてベビーマットと認定マークが贈られた。制度は26年度に創設。「時間勤務制度」など認定基準項目の一つでも当てはまれば申請できる。26年度は13事業所、27、28年度は各3事業所を認定。子ども課では引き続き申請を受け付ける。